



平成21年10月1日発信

1
地域の歴史と概要

私たちの11支会がある新宿町は、本庁管内の南部に位置し、江戸時代後期、戸数10数戸の農村地帯でした。

明治22年の町村制施行により、新宿村は隣接の大仙波村、岸村、大仙波新田と合併し、仙波村となりました。仙波村ができる前の人口、戸数は次のとおりでした。

新宿村	255人	42戸
大仙波村	517人	84戸
岸村	466人	80戸
大仙波新田	315人	58戸

そして、大正3年、東武東上線の開通。昭和15年には国鉄（JR）川越線の開通に伴い、沿線地域で住宅化が進み、昭和30年代後半に入って、新宿町は農業地域から首都圏のベッドタウンと姿を変えました。

昭和39年8月、新宿町は1丁目から6丁目に分かれました。なお、現在の1丁目から6丁目の世帯、人口は次のとおりです。

平成21年9月1日現在

新宿町1丁目	1, 131人	512世帯
新宿町2丁目	1, 119人	549世帯
新宿町3丁目	2, 031人	870世帯
新宿町4丁目	926人	423世帯
新宿町5丁目	2, 175人	943世帯
新宿町6丁目	3, 612人	1, 454世帯

2
支会のあゆみ

昭和43年、支会制度に改まり、岸町1丁目から3丁目自治会と新宿町1丁目から6丁目自治会で第八支会を発足し、31年間にわたり協力体制を築いてきましたが、平成11年、新宿町の6自治会は、岸町の3自治会と協議し、新宿町の6自治会が第八支会

から分離独立し、第十一支会を設立し現在に至っています。

3

こんなことをしています

(1) 川越まつり

昭和58年から毎年、新宿町1丁目、5丁目、6丁目と新宿町2丁目、3丁目、4丁目がそれぞれの町内を隔年毎に山車の曳き廻しを実施しています。

また、150年の伝統を誇る「新宿町囃子保存会」の山車添乗により、まつりを盛り上げています。

(2) 体育大会

昭和27年から毎年10月に字別対抗体育大会を開催していましたが、昭和40年からは1丁目から6丁目の自治会ごとの開催となりましたが、幼児から高齢者まで大勢の住民が参加し、競技を楽しんでいます。

(3) 盆踊り

毎年8月、自治会ごとに実施し、地域住民の夏のイベントとして定着しています。

(4) 防犯・交通安全活動

自治会単位で夜間パトロールの実施と防犯灯の維持管理をしています。また、児童や高齢者に対して、正しい自転車の乗り方や横断歩道の渡り方などの指導を行っています。

(5) 環境美化活動

ごみの減量化、資源化、適正処理などの指導を行うとともに、処理施設などの視察も行っています。

(6) その他

支会活動とは別に各単位自治会では、敬老会、花見会、グラウンドゴルフ大会、餅つき会、高齢者の旅行会などそれぞれ自治会ごとに実施しています。

地域防災フェアを開催しました

平成21年9月5日（土）、川越市立新宿小学校において地域防災フェアが開催されました。

当日は、川越地区消防組合などの協力を得て、自治会をはじめ育成会、地域住民が大勢参加し、色々な体験をしました。



はしご車体験搭乗



地震体験車体験搭乗



天ぷら鍋消火訓練



水消火器による消火訓練



応急救護 AED訓練